

空飛ぶクルマ都市型ビジネス創造都市推進事業補助金 令和6年度 採択事業概要一覧

2024.7.3 大阪府商工労働部

事業区分	事業名	代表事業者
飛行実証等ビジネス化に資する取組み	① 空飛ぶクルマの運航事業実現に向けた検証調査 ～みんなでつくろう！関西から始まる新しい空の世界～	丸紅（株）
	② 大阪・関西万博での2地点間運航と 将来的な旅客輸送サービスの実現に向けた取組み	日本航空（株）
	③ 大阪における空飛ぶクルマ社会実装に向けた実証実験	丸紅エアロスペース（株）
ビジネスモデルの検証に資する実証実験、調査・検討、社会受容性向上の取組み	④⑤ 関西・瀬戸内エリアにおける空飛ぶクルマ社会実装事業	（一社）MASC
	⑥ エアモビリティ統合運航管理プラットフォーム事業	三井物産（株）
	⑦ 大阪・兵庫における空飛ぶクルマの医療分野の有効活用の検討Ⅱ	エアバス・ヘリコプターズ・ジャパン（株）
	⑧ 低層風情報提供システム（乱気流監視システム）の実証評価	（株）ソニック
	⑨⑩ 離着陸場設置に関する調査・検証及び 社会受容性向上の為の展示会イベント・セミナー開催	（株）テラリング

①空飛ぶクルマの運航事業実現に向けた検証調査 ～みんなで作ろう！ 関西から始まる新しい空の世界～

(1) 飛行実証等ビジネス化に資する取組み

(2) ビジネスモデルの検証に資する
実証実験、調査・検討、社会受容性向上の取組み

■ 大阪・関西でのビジネス構想

2025年度

大阪・関西万博での飛行
旅行商品内容の検討

2026年度

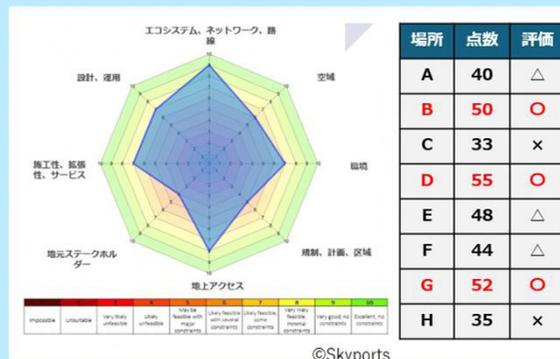
関係省庁との調整
運航ルートの調整

2027年度以降

主要空港近郊や湾岸部を離発着地とした観光用途での運航サービス開始

■ ビジネス構想を踏まえた2024年度中のアクション

- ・ 検証調査 (1) インバウンド・富裕層向け需要調査
- ・ 検証調査 (2) 観光商品動画の制作
- ・ 検証調査 (3) 離着陸場適地調査
- ・ 検証調査 (4) 飛行実現に向けたフィールドワーク兼申請準備



■ ねらい

関西エリアにおける運航事業の早期実現に向け、観光商品の設計やポートの適地調整、安全性を担保した運航計画の策定を通して事業開始に向けた準備を進めていく。

■ 申請者・実施体制

<申請者>

Marubeni

- ・ 丸紅株式会社

<共同事業者>

- ・ 株式会社エイチ・アイ・エス
- ・ 株式会社みずほ銀行
- ・ 東京海上日動火災保険株式会社
- ・ 兼松株式会社

<協力事業者>

- ・ Vertical Aerospace Group Ltd.
- ・ Skyports株式会社

②大阪・関西万博での2地点間運航と 将来的な旅客輸送サービスの実現に向けた取組み

(1) 飛行実証等ビジネス化に資する取組み

■ 大阪・関西でのビジネス構想

2025年度

万博会場と会場外を結ぶ
2地点間運航

2026年度

短距離輸送サービスの開始

2027年度以降

関西圏空港シャトルサービスへの拡大
都市部を含めたエアタクシーサービスへの拡大

■ ビジネス構想を踏まえた2024年度中のアクション

- 空飛ぶクルマ運航の事業準備にかかる取組み（パイロット・整備士訓練の実施、機体輸送の実施、運航関連システムの確立等の諸準備）
- パイロット・整備士による実機を活用した空飛ぶクルマ教室の開催



© Volocopter GmbH - All rights reserved

パイロット・整備士訓練のイメージ



© Volocopter GmbH - All rights reserved

空飛ぶクルマ教室のイメージ

■ ねらい

- 2025年大阪・関西万博を契機として、旅客輸送サービスのビジネス化を実現
- 万博以降は、大阪版ロードマップの展開ステップに沿って段階的にサービス拡大

(2) ビジネスモデルの検証に資する
実証実験、調査・検討、社会受容性向上の取組み

■ 申請者・実施体制

<申請者>

- 日本航空株式会社

<共同事業者>

- 住友商事株式会社

<協力事業者>

- Volocopter GmbH

③大阪における空飛ぶクルマ社会実装に向けた実証実験

(1) 飛行実証等ビジネス化に資する取組み

(2) ビジネスモデルの検証に資する
実証実験、調査・検討、社会受容性向上の取組み

■ 大阪・関西でのビジネス構想

2025年度

大阪・関西エリアでの商用運航

2026年度

遊覧飛行を中心に
観光用途での運航事業実施

2027年度以降

観光利用に加え、大阪府内での定地点間の
短距離移動を提供する運航事業実施

■ ビジネス構想を踏まえた2024年度中のアクション

①空飛ぶクルマの実機による有人での
デモ飛行でのオペレーションフロー検証

【事業概要】

- 1.実施予定場所 大阪市内
- 2.機体 米LIFT社製”HEXA”



©Lift Aircraft

②パイロットの訓練及び養成の工程を実証

【事業概要】

- 1.実施予定場所 大阪市内
- 2.訓練内容 米LIFT社製VRシミュレーターを使用し、米国の養成シラバスに沿って、パイロットの訓練及び養成の工程を実証。



©Lift Aircraft

■ 申請者・実施体制

<申請者>

- 丸紅エアロスペース株式会社

<協力事業者>

- LIFT AIRCRAFT INC

Marubeni
Aerospace

■ ねらい

実証実験やVRシミュレーターを使用したパイロット訓練体験を通じて、空飛ぶクルマの社会受容性の更なる向上に貢献。得られた調査結果を社会実装化の早期実現に繋げる。

④⑤ 関西・瀬戸内エリアにおける空飛ぶクルマ社会実装事業

(1) 飛行実証等ビジネス化に資する取組み

■ 申請者・実施体制

< 申請者 >

- 一般社団法人 M A S C



< 協力事業者 >

- サンワエアロスペースインダストリー株式会社
- 株式会社パソナグループ
- オリックス株式会社
- 株式会社建設技術研究所
- 株式会社日本空港コンサルタンツ
- 株式会社AirX
- 株式会社トラジェクトリー
- アリアル・イノベーションLLC
- Ehang Holdings Limited

■ ビジネスプラン（今後の構想）

2025年度

国外訓練の実施
中核基地等の事前準備

2026年度

国内訓練の実施
中核基地等の整備

2027年度以降

事業会社の設立および事業一部開始
事業用機体導入

(2) ビジネスモデルの検証に資する 実証実験、調査・検討、社会受容性向上の取組み

■ ねらい

2030年代に関西・瀬戸内エリアが“空の廊下”で結ばれ、より自由に・より活発に空の移動が実現する社会の実現をめざす。

■ 今年度事業概要

- ビジネス化に向けた試験飛行等実証実験（安全運航・電波障害に関する検証）
- 離着陸場候補地の抽出
- 水上での離着陸場の活用シーン・構造要件・整備コスト・法制度における課題についての調査
- 社会受容性向上に向けた取組み



⑥エアモビリティ統合運航管理プラットフォーム事業

(1) 飛行実証等ビジネス化に資する取組み

■ 申請者・実施体制

< 申請者 >

- 三井物産株式会社



MITSUI & CO.

< 共同事業者 >

- 国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構(JAXA)
- 株式会社JR西日本イノベーションズ
- 朝日航洋株式会社
- 小川航空株式会社
- Terra Drone株式会社
- 株式会社ウェザーニューズ
- Qsol株式会社

< 協力事業者 >

- Eve Air Mobility

■ ビジネスプラン (今後の構想)

2025年度

2026年度

2027年度以降

航空機管理システムと気象情報の連携
多様な航空機に向けた無人機運航管理システムの開発

空飛ぶクルマ機体管理システム開発
離着陸場運営システム開発

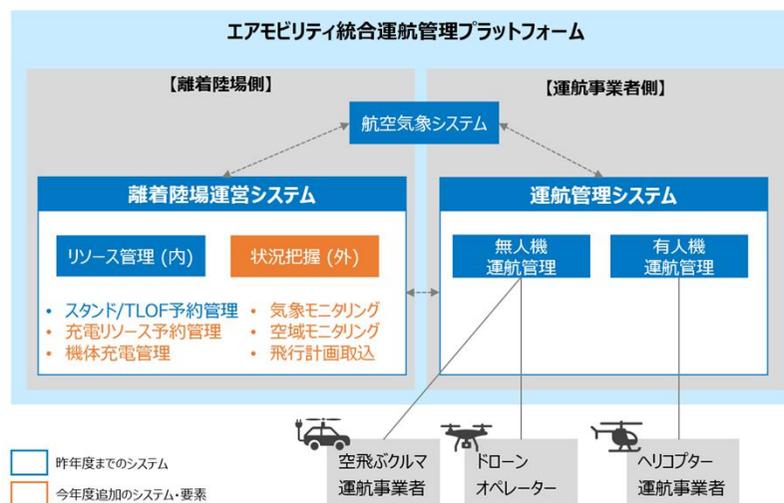
(2) ビジネスモデルの検証に資する 実証実験、調査・検討、社会受容性向上の取組み

■ ねらい

多種多様な機体の位置情報・運航データ、気象や離着陸場の情報を共有するエアモビリティ統合運航管理プラットフォームを構築し、安心・安全な空飛ぶクルマ社会の実現をめざす。

■ 今年度事業概要

- ① 調査：空飛ぶクルマ社会実装を想定した運航密度、ルート、離着陸場候補地検討
- ② 実証：①を前提とした運航管理プラットフォームの実証実験（高密度運航、空飛ぶクルマ実機性能の考慮、離着陸場内運用との情報共有）



令和5年度 画面例(D-NET)

⑦大阪・兵庫における空飛ぶクルマの医療分野の有効活用の検討Ⅱ

(1) 飛行実証等ビジネス化に資する取組み

■ 申請者・実施体制

< 申請者 >

- エアバス・ヘリコプターズ
・ジャパン株式会社

AIRBUS

< 共同事業者 >

- 株式会社メディセオ
- 三菱倉庫株式会社

■ ビジネスプラン（今後の構想）

2025年度

空飛ぶクルマによる有益な航空医療ミッションを実現するための検討調査

2026年度以降

災害時を含む航空医療ミッション・サービスに関するエコシステムの開発支援
旅客輸送などビジネスとして実現可能なユースケースの利用等をサポート

(2) ビジネスモデルの検証に資する 実証実験、調査・検討、社会受容性向上の取組み

■ ねらい

- 大阪府、兵庫県間で医療関係者・医薬品等を輸送する新しいソリューションを開発・展開
- 空飛ぶクルマを活用した効率的な輸送・患者の救命率改善による社会貢献をめざす

■ 今年度事業概要

- 大阪府・兵庫県において空飛ぶクルマの航空医療分野での有用性を検証（検証項目）

大規模災害が発生し道路網に大きな被害を受けた状況を想定し、都市部・山間部・離島の3つのルートで医薬品（医療スタッフ）の輸送に関するシミュレーションを実施。



⑧低層風情報提供システム(乱気流監視システム)の実証評価

(1) 飛行実証等ビジネス化に資する取組み

■ 申請者・実施体制

< 申請者 >

- 株式会社ソニック



< 協力事業者 >

- 小川航空株式会社
- 日本気象株式会社
- 国立研究開発法人
宇宙航空研究開発機構
(JAXA)

■ ビジネスプラン (今後の構想)

2025年度

気象統合情報の提供
大阪・関西地区での社会実装・事業化をめざす

(2) ビジネスモデルの検証に資する

実証実験、調査・検討、社会受容性向上の取組み

■ ねらい

- ・比較的 low 高度空域を低速で運航する空飛ぶクルマ向けに、上空乱気流を監視するために開発された SOLWIN-mini (低層風情報提供システム) を用いて、運航関係者へ情報提供し、安全運航を支援するシステム提供の事業化をめざす。

■ 今年度事業概要

- ・大阪へリポートに SOLWIN-mini を設置し、システム評価検証。
- ・低層風情報を特別のソフトウェア環境を必要としない、インターネットブラウザにて閲覧できるように整備し、運航関係者等の利用者に広く提供できる仕組みを構築。

取組み体制



2026年度以降

関西圏の既存ハブ空港や周辺の過疎地域とのパートナー関係の拡大をめざす

⑨⑩離着陸場設置に関する調査・検証及び 社会受容性向上の為の展示会イベント・セミナー開催

(1) 飛行実証等ビジネス化に資する取組み

■ 申請者・実施体制

< 申請者 >

- 株式会社テラリング

■ ビジネスモデル（今後の構想）

2025年度

適地での実現可能性調査及び事前協議
を踏まえた離着陸場の実施設計

2026年度以降

設計図書の作成及び離着陸場の整備

(2) ビジネスモデルの検証に資する 実証実験、調査・検討、社会受容性向上の取組み

■ ねらい

不動産所有者等が、将来収益事業として離着陸場整備に参入できるよう、関係法令上必要となる課題を調査・分析し、検証結果を土地所有者やビルオーナー等関係者に広く周知することで、離着陸場整備の促進及び整備事業者の拡大を図る。

■ 今年度事業概要

下記2箇所における、離着陸場設置に向けた「実現可能性調査等」及び関係者向け「理解促進セミナー等」の実施

- ① 淀川河川沿農地（田）
- ② 大阪市内既存建物（ホテル等）

